

われもこう

題字 松本 正三さん



「しめ縄」と「三島鴨神社」

しめ縄講師 竹本 克巳

毎年、恒例のように、12月の半ば過ぎになると高槻市日吉台にある、地域交流センター「あすなろ」で高槻市南部の農家の方と一緒に「しめ縄づくり」の訪問をして喜ばれています。

しめ縄に使う藁(わら)は、粘りがあり腐りにくいということから、もち米の藁を使っていますが、昔と違いお米の収穫方法が機械化され藁をせん断せずに保存しておくのが大変だと農家の方から聞いています。

作り方は藁の袴を取り、きれいなところだけ束にして編んでいきます。次に藁の束を3等分し、その一つを右周りに捻じり、それを左周りにねじ込んでいく、力と技がいる作り方で、出来上がりにそれぞれが、ナンテンや万両・季節の松、公園などで拾った松ボックリなど身近にあるものを飾って出来上がりです。

正月飾り用の凧や七福神などのピックもあればなお綺麗に飾れます。

また、正月前にスーパーの店先に並ぶ、ウラジロや橙などを水引などで飾っても趣が出るでしょう。合わせてしめ縄につける縁起の御幣(ゴヘイ)も作り完成です。近年は、写真

のようにリース状にした洋風のものが好まれています。



さて、しめ縄に使用する藁を提供して頂いている農家の方の話では、毎年、高槻市南部の三箇牧地区の三島江にある「三島鴨神社」にしめ縄を有志で作り奉納されているそうで、ここで「三島鴨神社」を紹介します。

「三島鴨神社」の由来と三箇牧の歴史

創建は古墳時代で、仁徳天皇が河内の茨田(まんだ)の堤を築かれる際、淀川鎮守の神として百濟より撰津の「御島」に大山抵神をお祀りしたことが起源と伝えられる。「御島」とは、淀川の三島江にある川中島のことで、このあたりは淀川でもっとも神妙幽玄な景観をもっていた。

ここは古代の「玉川湖沼」が淀川に流れ込



む入江「玉江」三島江にあって、島は淀川本流に、玉川水路が出された土砂が堆積したものとされている。

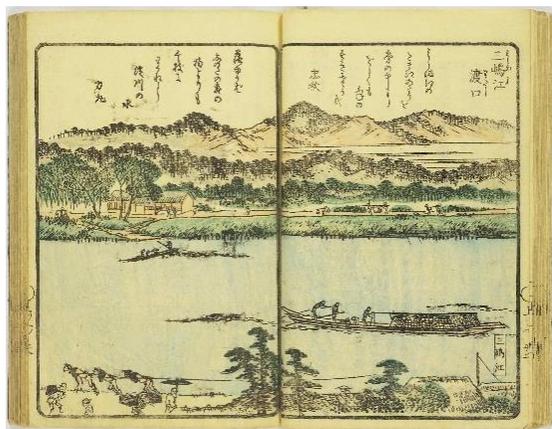
慶応 3 年(1598)豊臣秀吉の命で淀川右岸堤防が築かれる際に現在地に移転された。高槻藩主の永井公は淀川守護の任務を幕

府から与えられていたので、格別の尽力により社域をととのえ「三島鴨神社」と称するようになった。

また、三島鴨神社は日本で最初の三島神社で、伊予と伊豆の三島と並び「三三島」と呼ばれている。



高張提灯の宮



淀川の渡し 三島江浜
(出典：「淀川兩岸 一覽」(1861)より)



大鳥居

芥川が淀川に合流するこの付近は、古くから淀川の川港として開かれた場所で、唐崎や番田といった地名も古代唐船の寄港にち

なんだものとされている。

平安時代には、この付近から摂津鳥飼付近までに近都牧(きんとまき)(諸国から京に



収めるべく集めた牛馬を一時的に飼育する牧場)が設けられたと伝えられる。のちにこれを、上・中・下に分けたことから「三箇牧」の地名が生まれたとされる。また、江戸時代には、内陸の高槻や富田が発展し、これらの外港として唐崎浜や三島江浜が栄え、荷受問屋の蔵が建ち並んでいたと伝えられる。また、三島江浜は古くから歌枕にされた葦や月の名所だが、近世には三島江の渡しが設けられ、対岸の枚方市の出口(松ヶ鼻)とを結んでいた。

ここが能勢の妙見山との参詣道になっており、往事を伝える石灯籠が今でも残っている。



「毘沙門天道標(びしゃもんでんどうひょう)」
妙見燈籠



第 15 回 食の文化祭～高槻ジャズとグルメフェア～に参加

10月14日(土) 食の文化祭 社会貢献ブースに出店！ライブ演奏も流れる中、靴下製造過程でできるリング状の布製クズを指で編んだ座布団、マット、ティッシュボックスカバーや職員の家族が制作した陶芸も販売。「まあ、いい土を使っておられますね。これに花を入れて飾るわ。」と喜んでおられた方や、お猪

口を手に取り「これで正月に日本酒のんだら上手そうやなあ。」とお買い上げいただいた方も。また、NPO 法人高槻ライフケア協会は「サロンあすなろ」や各種教室の方々が作ってくださった手作りの小物入れを販売しました。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。





くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護

10月に開催したハロウィンパーティ。ハロウィンに馴染みのないご利用者も、仮装したスタッフから配られるリクエストおやつには大興奮でした。焼き芋、まんじゅう、ケーキ…なかでも焼き芋は、この季節不動の人気！大きなお芋に、さらに大きな口でかぶりついておられました。ケーキも好評で、ショートケーキやモンブランを前にしての満面の笑顔が印象的でした。

園芸部では、夏野菜を引き抜いたあとに、チューリップの球根を植えました。それぞれ好きな花色の球根を選んでいただき、掘り起こした土に並べて優しく土をかぶせます。名前入りのピックを立てて「きれいな花が咲きますように！」。色とりどりの花が見られる春の訪れが、今から楽しみです！



地域交流センター あすなろ



あすなろでも時々話題になる相続のおはなし。今回、誠行政書士事務所の松本修明氏のご協力で、「円満相続セミナー」を開催しました。

「円満相続セミナー」を開催

11月22日

○相続と争族 ○相続争いがおこるとどうなる
○相続と法定相続人 ○相続争いの原因
○遺言書を残す ○遺言者が認知症になると
○円満相続のためには、のテーマごとに実例を交えながらお話いただき、相続トラブルから家族を守り、円満に相続ができるための基本を学びました。今後も当セミナーをニーズに合わせて開催していきたいと思えます。



研修実施報告 法人のBCP研修&机上訓練

高槻ライフケア協会のBCP(業務継続計画)を策定しました。今年度はそのBCPの概要の理解と机上訓練を目的に、事業所ごとに11月28日(火)・12月13日(水)・14日(木)に研修とシュミレーション(机上訓練)を実施しました。まずは、「BCPとは何か?(BCGと違うよ)」から始まり、「防災計画とBCPの違い」、「自事業所のBCP」、動画「はにたん逃げます」の視聴、そしてシュミレーション(机上訓練)です。訪問介護事業所は「さあ大変! 芥川が決壊した!」小規模多機能型居宅介護事業所は「地震発生! 立ってられないほどの地震が数分続きました!」と、それぞれの設定から、自然災害時における対応手順書を確認しつつ問題点も浮上。受講したスタッフたちで、浸水や地震が起きる前にできることから着手してリスクの軽減を確認しました。BCPはブラッシュアップしていきます。



能型居宅介護事業所は「地震発生! 立ってられないほどの地震が数分続きました!」と、それぞれの設定から、自然災害時における対応手順書を確認しつつ問題点も浮上。受講したスタッフたちで、浸水や地震が起きる前にできることから着手してリスクの軽減を確認しました。BCPはブラッシュアップしていきます。

サービス提供実績(2023年8月~11月)

《訪問介護》

利用者数	221 人
利用時間	2500.0 時間
生活援助	589.0 時間
身体介護	991.5 時間
身体生活	919.5 時間

《介護予防訪問介護》

利用者数	121 人
利用時間	949.0 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

利用者数	63 人
利用時間	129.5 時間
家事援助	96.0 時間
身体介護	33.5 時間

《小規模多機能型居宅介護》登録人数平均

くらし創造の家 朋(とも)	21.7 人
あすなろ	18.0 人

《障害福祉・居宅介護》

利用者数	316 人
利用時間	4275.5 時間
家事援助	2055.5 時間
身体介護	1827.5 時間
通院介助	392.5 時間

《重度訪問介護》

利用者数	8 人
利用時間	265.0 時間

《同行援護》

利用者数	133 人
利用時間	1719.5 時間

《移動支援》

利用者数	184 人
利用時間	1793.5 時間

《短時間デイサービス》利用人数平均

地域交流センターあすなろ	0 人
--------------	-----

ほっこりカフェ  ご来場ありがとうございました 



10月17日(火)快晴の中、くらし創造の家
朋(とも)の1Fで“ほっこりできる時間”を共
有する交流の場「ほっこりカフェ」を開催しま
した。長い間、コロナ禍で皆さんと集まる機会

を設けることができませんでしたが、当日はご利用者、ご利用者のご家族、近隣の
方々、お母さんと小さい女の子の親子連れ、関係機関のスタッフ等でほっこりするひと
時を過ごすことができました。おいしいもの販売や素敵なもの販売にご協力いただきま
した皆様、ありがとうございました。またお会いしましょう！(順不同/サニースポット
様、友遊の里様、花の会様、川居精米店様、あすてる様)



年末年始休業のお知らせ

◇法人本部事務所 12月30日～1月3日

*訪問介護・小規模多機能型居宅介護は変わりなく活動しています。





♥ご協力に感謝します

<社会福祉法人>

□寄附金 累計 100,000 円

<後援会>

□後援会費 累計 48,000 円

□物品販売 累計 223,421 円



♣物品販売です！ 大阪産(もん)ロゴマークの意味



大阪産(もん)の言い換えである「品」をモチーフに、「農産物や林産物などをイメージする萌葱色」、「魚介類などをイメージする孔雀青」、「つくり手」の温かみや情熱など「大阪産(もん)」を支える人々をイメージする金茶色」を3つの「円」で表し、様々な主体の活動や連携の「輪・環」を築き広げることを表しています。



※茎わかめ佃煮
90g 400円



※塩わかめ
130g 350円



※たご飯の素
2合用 550円



焙煎工房カフェ・ド・
タイムリー高槻店から
※コーヒー(豆、挽)
500g 1,250円

✍編集後記

紅葉の季節も終わろうとし、今年もあとわずかになってきました。今年一年を振り返ると私にとっていいことが少ない一年でした。愛犬との別れ、怪我に病気と今までになかったことが一度に押し寄せてきたような気がします。あわただしく毎日を過ごしていましたが思うように体を動かすことが出来ず焦る毎日でした。

そんな時、身体を休め少しゆっくりしてもいいのではないかと考え方を変えると気持ちが楽になり、周りを見る見方も違い優しくなれるような気がしました。焦りは禁物、来年は健康管理を第一に考え、今年少なかったいいことがありますように。皆さんも良いお年をお迎えください。(S)

社会福祉法人 高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5番7号 TEL(072)683-4945 <http://tlca.info/>